

# I 調査結果の概要

# 1 みかん

## (1) 結果樹面積

結果樹面積は4万4,600haで、前年産に比べて700ha（2%）減少した。

これは、生産者の高齢化に伴う廃園や規模縮小、他のかんきつ類への転換等が進んだためである。

なお、前の裏年である22年産に比べて1,500ha（3%）減少した。

## (2) 10a当たり収量

10a当たり収量は1,900kgで、22年産に比べて12%上回った。

これは、果実肥大期の高温・少雨により果実の肥大が抑制された22年産に比べて、天候に恵まれ、果実の肥大が順調だったことなどによる。

## (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は84万6,300t、出荷量は75万7,300tで、22年産に比べてそれぞれ6万300t（8%）、5万7,200t（8%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が19%、愛媛県が15%、静岡県が14%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図1 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移

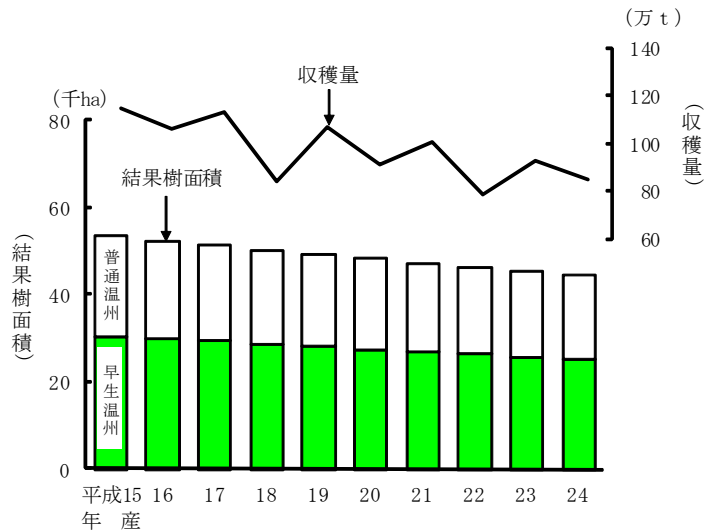


図2 平成24年産みかんの都道府県別収穫量割合

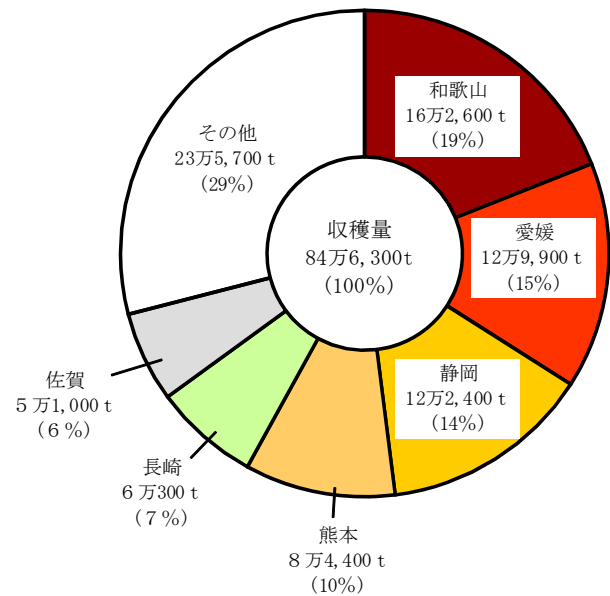


表1 平成24年産みかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量		出荷量	対23年産比		対22年産比		
			実数	割合		結果樹面積	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%	%
みかん	44,600	1,900	846,300	100	757,300	98	97	112	108	108
早生温州	25,300	1,950	494,100	58	447,600	98	96	110	106	106
うち 極早生みかん	8,120	1,830	149,000	18	135,700	98	96	112	107	108
ハウスみかん	536	4,850	26,000	3	24,800	92	89	103	92	91
普通温州	19,300	1,820	352,200	42	309,800	98	97	114	110	111

注：みかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する現象（隔年結果）が顕著であり、24年産は裏年であることから、統計結果の対比については、結果樹面積は前年産（23年産）及び前々年産（22年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前の裏年である前々年産（22年産）と行った。

## 2 りんご

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は3万7,400haで、前年産に比べて400ha（1%）減少した。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,120kgで、前年産に比べて23%上回った。

これは、花芽が不足し着果数が減少した前年産に比べて、着果数が増加したことや、果実肥大期の天候に恵まれ、果実の肥大が良好だったことなどによる。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は79万3,800t、出荷量は70万8,400tで、前年産に比べてそれぞれ13万8,500t（21%）、12万6,400t（22%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が56%、長野県が21%となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

図3 りんごの結果樹面積及び収穫量の推移

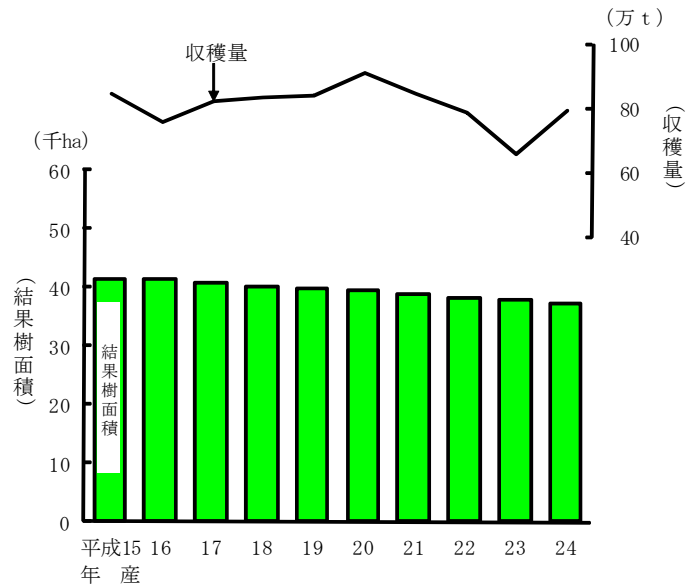


図4 平成24年産りんごの都道府県別収穫量割合

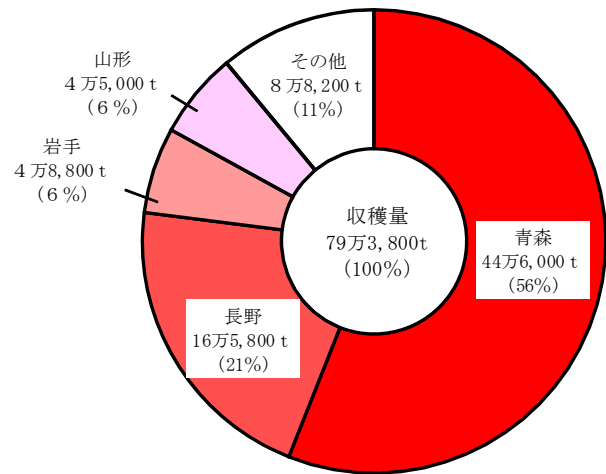


表2 平成24年産りんごの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量		出荷量	対前年産比			
			実数	割合		結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	37,400	2,120	793,800	100	708,400	99	123	121	122
うちふじ	19,500	2,220	432,100	54	385,000	99	124	123	124
つがる	4,990	1,730	86,200	11	76,600	98	104	102	103
ジョナゴールド	2,800	2,090	58,500	7	52,600	97	121	117	118
王林	3,130	2,090	65,300	8	58,900	98	131	128	129

### 3 日本なし

#### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1万3,300haで、前年産に比べて400ha（3%）減少した。

#### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,070kgで、前年産に比べて1%下回った。

#### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は27万5,400t、出荷量は25万2,800tで、前年産に比べてそれぞれ1万800t（4%）、1万1,200t（4%）減少した。

これは、結果樹面積が減少したことのほか、降ひょうにより幼果に損傷がみられたこと、果実肥大期の高温、少雨のため果実の肥大が抑制されたこと等による。

都道府県別にみた収穫量割合は、千葉県が12%、茨城県が10%、栃木県及び鳥取県が8%となっており、この4県で全国の約4割を占めている。

図5 日本なしの結果樹面積及び収穫量の推移

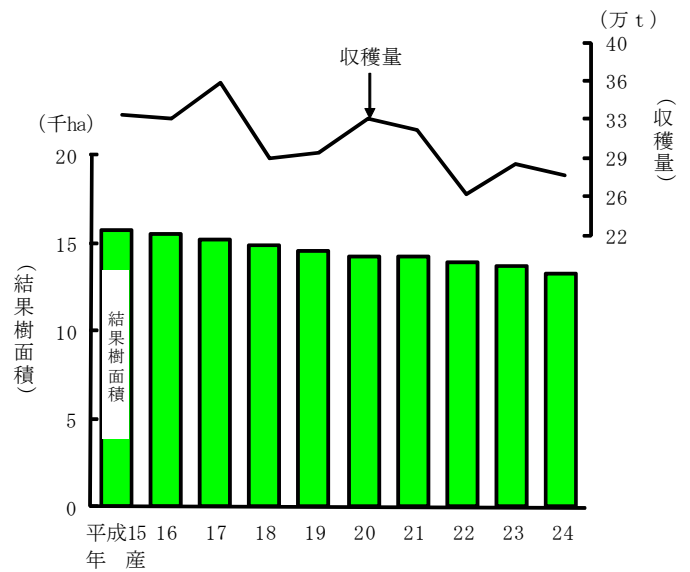


図6 平成24年産日本なしの都道府県別収穫量割合

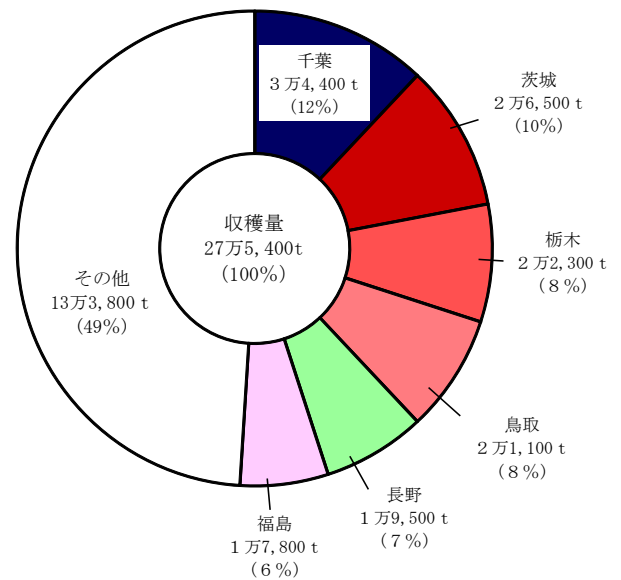


表3 平成24年産日本なしの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	13,300	2,070	275,400	252,800	97	99	96	96

#### 4 西洋なし

##### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1,570haで、前年産に比べて20ha（1%）減少した。

##### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,500kgで、前年産に比べて10%下回った。

これは、雪害による倒木、樹体損傷等により結果数が減少したことや果実肥大期の高温、少雨のため果実の肥大が抑制されたこと等による。

##### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万3,600t、出荷量は2万700tで、前年産に比べてそれぞれ3,000t（11%）、2,600t（11%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の6割超を占めている。

図7 西洋なしの結果樹面積及び収穫量の推移

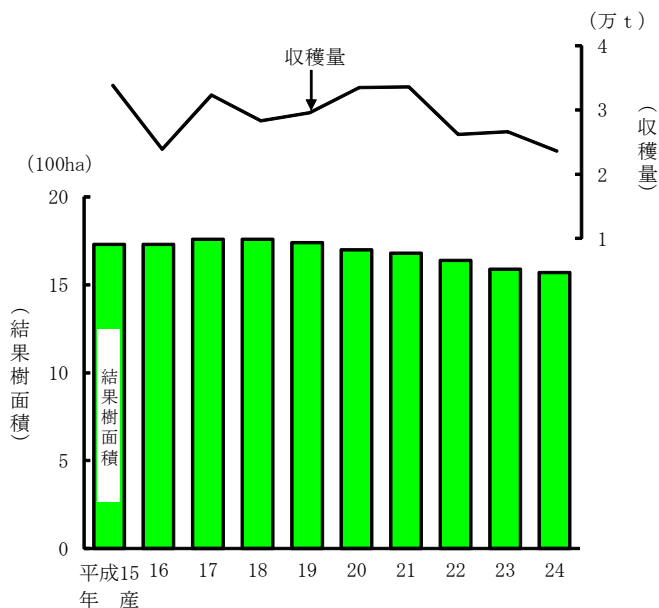


図8 平成24年産西洋なしの都道府県別収穫量割合

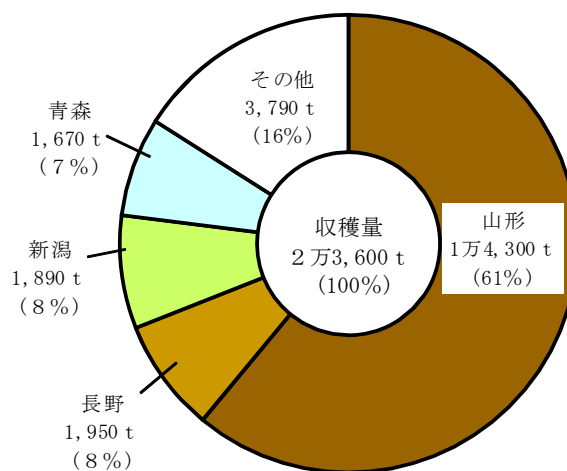


表4 平成24年産西洋なしの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,570	1,500	23,600	20,700	99	90	89	89

## 5 かき

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は2万1,900haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

### (2) 10aあたり収量

10aあたり収量は1,160kgで、前年産に比べて24%上回った。

これは、開花期の天候に恵まれ、作柄の悪かった前年産に比べて着果数が増加したこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は25万3,800t、出荷量は20万9,300tで、前年産に比べてそれぞれ4万6,300t（22%）、3万9,000t（23%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が12%、福岡県が10%となっており、この3県で全国の4割超を占めている。

図9 かきの結果樹面積及び収穫量の推移

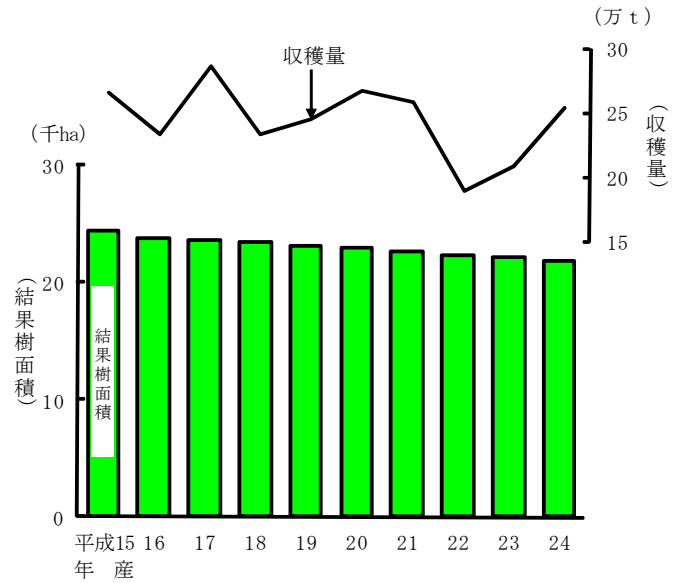


図10 平成24年産かきの都道府県別収穫量割合

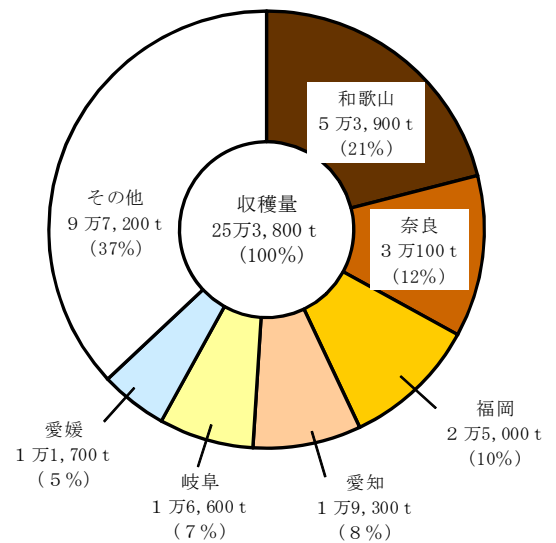


表5 平成24年産かきの結果樹面積、10aあたり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量
かき	21,900 ha	1,160 kg	253,800 t	209,300 t	99%	124%	122%	123%

## 6 びわ

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1,550haで、前年産に比べて50ha（3%）減少した。

これは、廃園等が進んだためである。

### (2) 10a当たり収量

10a当たり収量は209kgで、前年産に比べて37%下回った。

これは、果実肥大期の低温の影響により、長崎県等においては果実の凍死及び裂傷等が発生し、千葉県等においては生育の抑制があったこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は3,240t、出荷量は2,660tで、前年産に比べてそれぞれ2,060t（39%）、1,690t（39%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、長崎県が26%、千葉県が17%、愛媛県が10%となっており、この3県で全国の5割超を占めている。

図11 びわの結果樹面積及び収穫量の推移

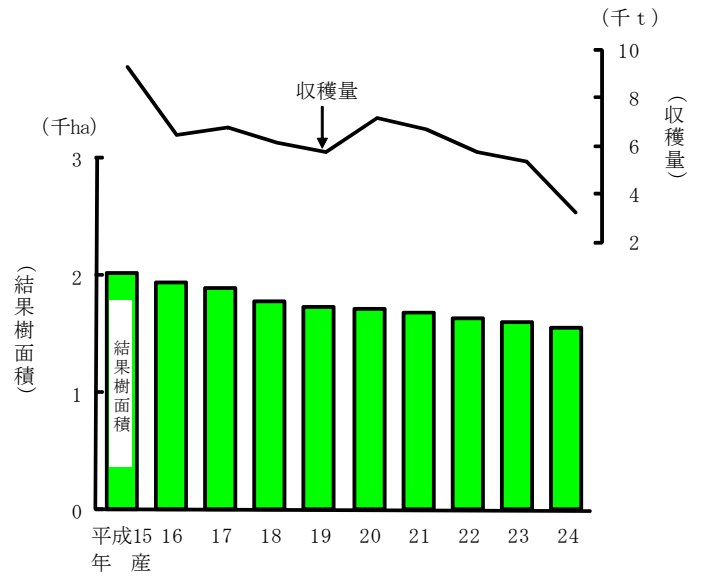


図12 平成24年産びわの都道府県別収穫量割合

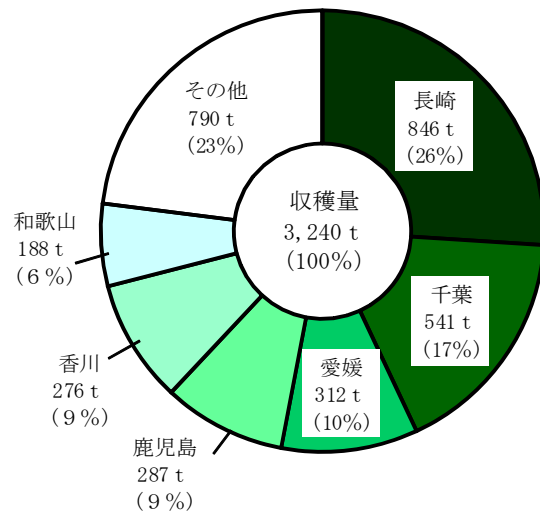


表6 平成24年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
びわ	1,550	209	3,240	2,660	97	63	61	61

## 7 もも

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は9,950haで、前年産並みとなった。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,360kgで、前年産に比べて3%下回った。

これは、山梨県等において収穫期の高温・乾燥の影響により小玉傾向となり、また過熟果や裂果等があったためである。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は13万5,200t、出荷量は12万3,700tで、前年産に比べてそれぞれ4,600t（3%）、4,400t（3%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が33%、福島県が20%、長野県が14%となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図13 ももの結果樹面積及び収穫量の推移

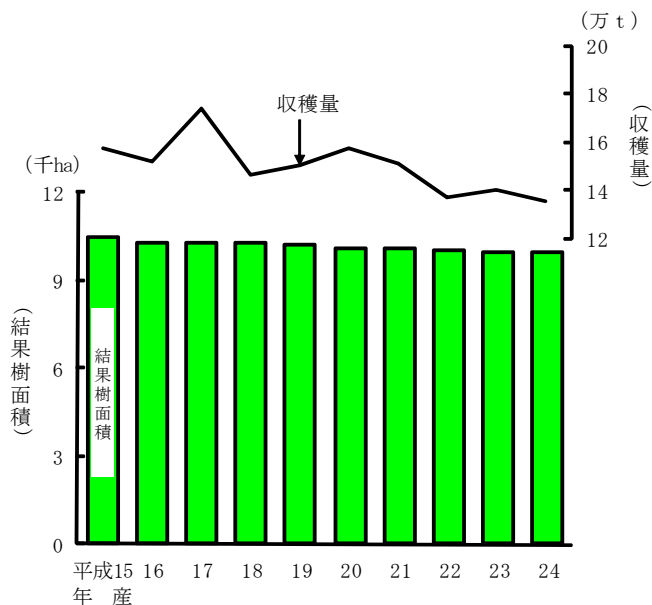


図14 平成24年産ももの都道府県別収穫量割合

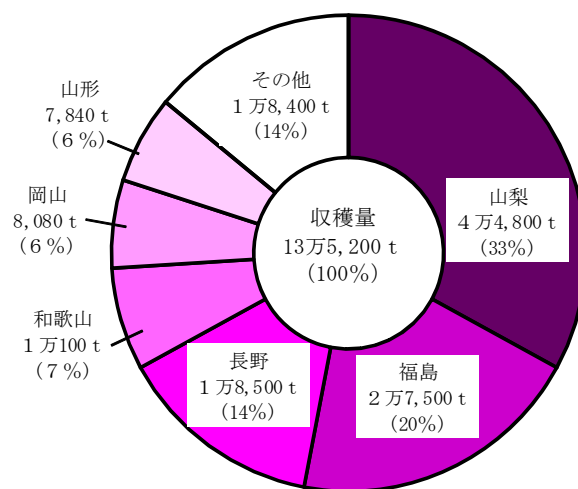


表7 平成24年産ももの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
もも	9,950	1,360	135,200	123,700	100	97	97	97



## 8 すもも

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は2,970haで、前年産並みとなった。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は751kgで、前年産に比べて1%下回った。

これは、和歌山県等において開花期の天候不順により結果数が減少したこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万2,300t、出荷量は1万9,300tで、前年産に比べてそれぞれ200t(1%)、300t(2%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が37%、長野県が15%、和歌山県が9%となっており、この3県で全国の6割超を占めている。

図15 すももの結果樹面積及び収穫量の推移

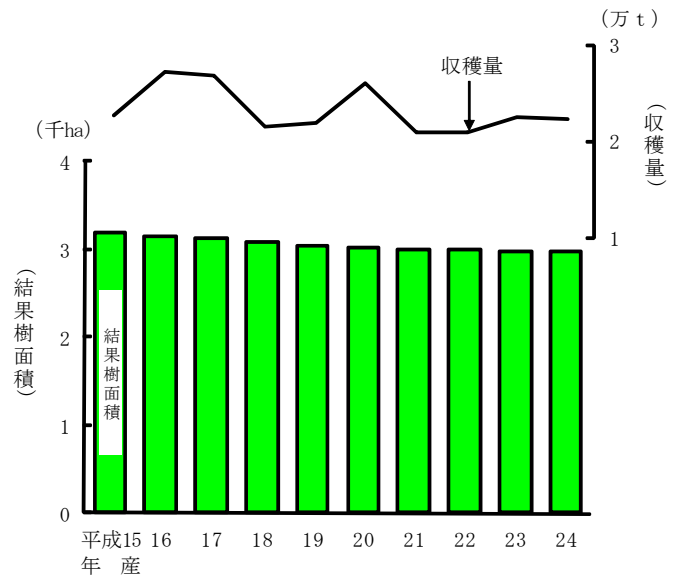


図16 平成24年産すももの都道府県別収穫量割合

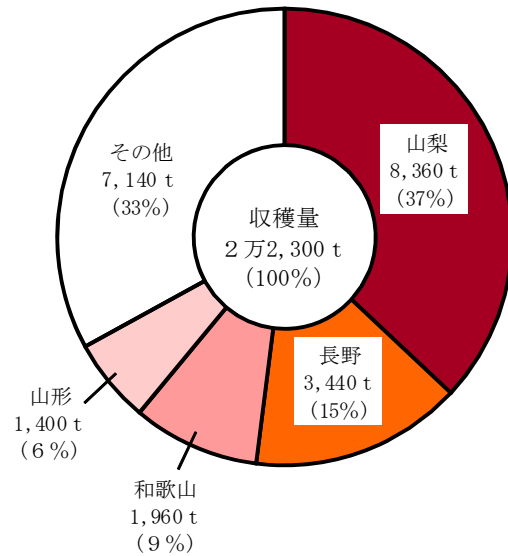


表8 平成24年産すももの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
すもも	2,970	751	22,300	19,300	100	99	99	98

## 9 おうとう

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は4,440haで、前年産並みとなった。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は401kgで、前年産に比べて13%下回った。

これは、山形県において雪害による枝折れや山間地域等での開花期の天候不順の影響により、作柄の良かった前年産に比べて結果数が減少したこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は1万7,800t、出荷量は1万5,900tで、前年産に比べてそれぞれ2,600t（13%）、2,100t（12%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の7割超を占めている。

図17 おうとうの結果樹面積及び収穫量の推移

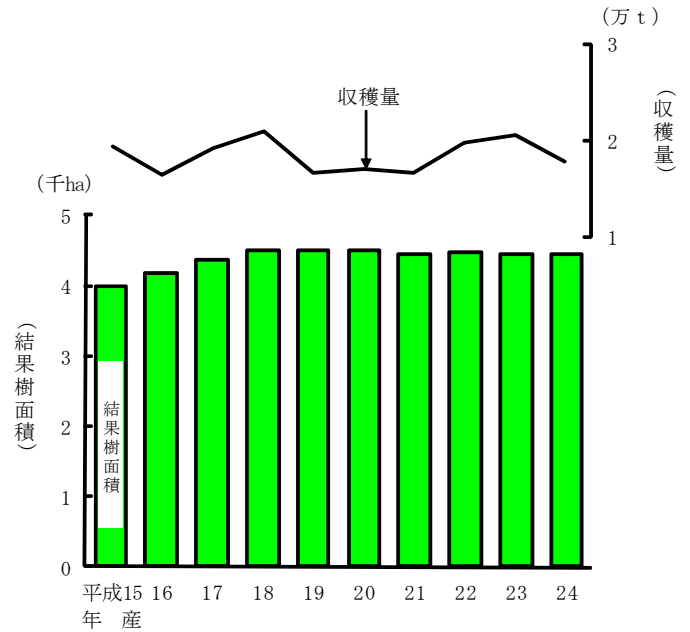


図18 平成24年産おうとうの都道府県別収穫量割合

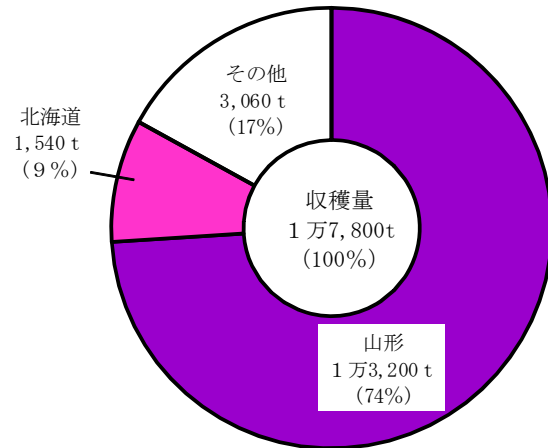


表9 平成24年産おうとうの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
おうとう	4,440	401	17,800	15,900	100	87	87	88

## 10 うめ

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1万6,400haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

### (2) 10a当たり収量

10a当たり収量は549kgで、前年産に比べて15%下回った。

これは、和歌山県等において開花期の天候不順の影響により結果数が減少したこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は9万t、出荷量は7万8,100tで、前年産に比べてそれぞれ1万6,900t（16%）、1万4,600t（16%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が全国の6割超を占めている。

図19 うめの結果樹面積及び収穫量の推移

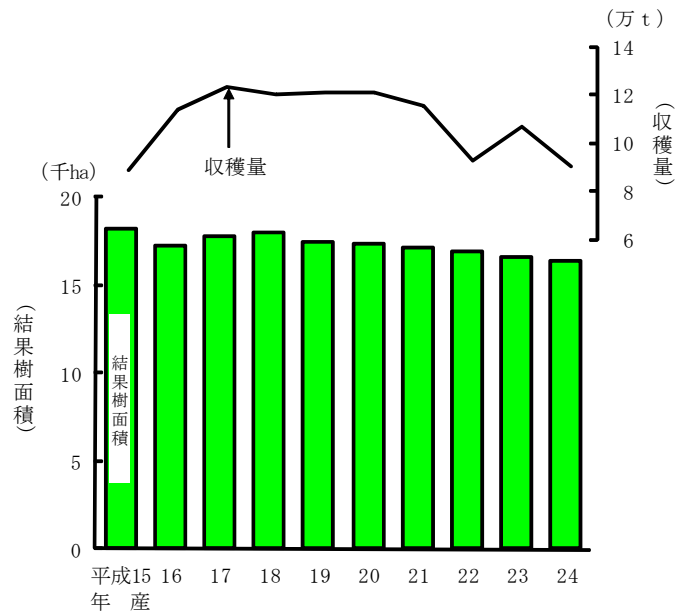


図20 平成24年産うめの都道府県別収穫量割合

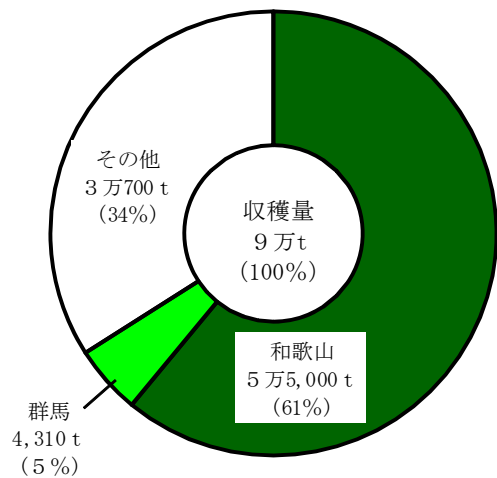


表10 平成24年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	16,400	549	90,000	78,100	99	85	84	84

## 11 ぶどう

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1万7,600haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,130kgで、前年産に比べて16%上回った。

これは、開花期・果実肥大期の降雨等により作柄の悪かった前年産に比べて、果実肥大期に天候に恵まれ、果実の肥大が良好だったこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は19万8,300t、出荷量は18万2,100tで、前年産に比べてそれぞれ2万5,700t（15%）、2万4,300t（15%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が25%、長野県が15%、山形県が10%となっており、この3県で全国の5割を占めている。

図21 ぶどうの結果樹面積及び収穫量の推移

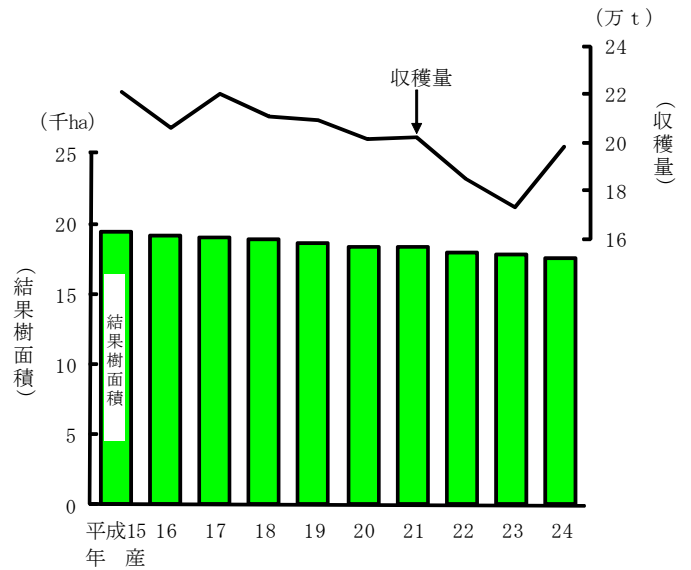


図22 平成24年産ぶどうの都道府県別収穫量割合

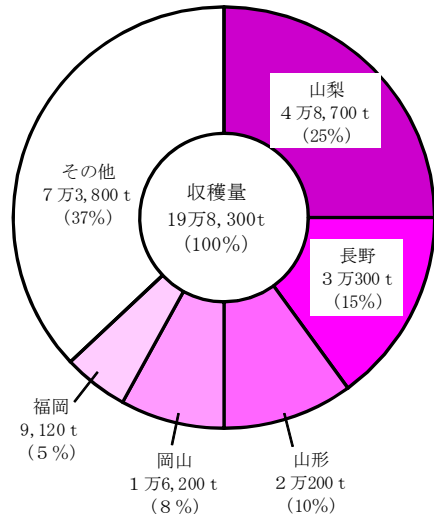


表11 平成24年産ぶどうの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶどう	17,600	1,130	198,300	182,100	99	116	115	115

図23 くりの結果樹面積及び収穫量の推移

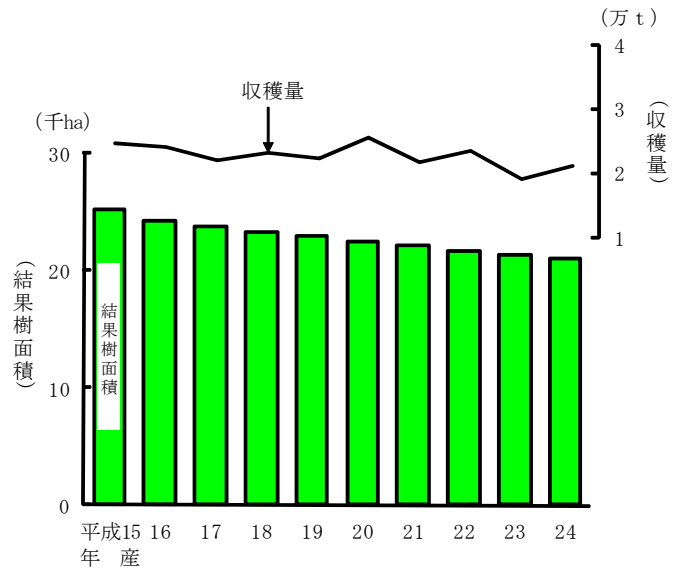
(1) 結果樹面積

結果樹面積は2万1,000haで、前年産に比べて400ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は100kgで、前年産に比べて12%上回った。

これは、開花期の天候に恵まれ、作柄の悪かった前年産に比べて結<sup>きゅう</sup>数が増加したこと等による。



(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万900t、出荷量は1万5,300tで、前年産に比べてそれぞれ1,800t（9%）、1,500t（11%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、茨城県が24%、熊本県が15%、愛媛県が9%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図24 平成24年産くりの都道府県別収穫量割合

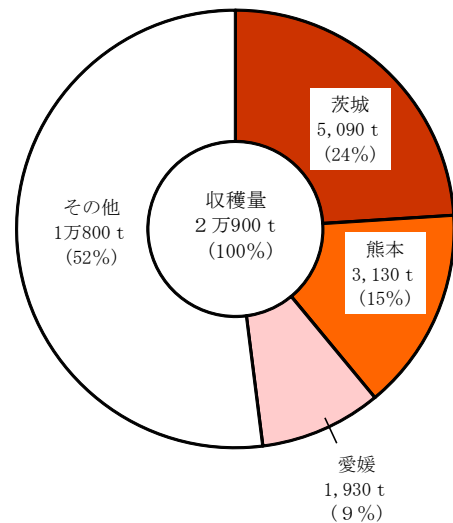


表12 平成24年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
くり	21,000	100	20,900	15,300	98	112	109	111

### 13 パインアップル（沖縄県）

#### (1) 収穫面積

収穫面積は326haで、前年産に比べて19ha（6%）減少した。

これは、規模縮小等があったためである。

#### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,920kgで、本調査を開始した昭和48年産以降最も低い水準であった前年産に比べて4%上回ったものの、沖縄本島において台風の影響等を受けて茎葉の生育が抑制され、果実が小玉化したこと等により依然低い水準となっている。

#### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は6,260t、出荷量は6,050tで、前年産に比べてそれぞれ90t（1%）、110t（2%）減少した。

図25 パインアップルの収穫面積及び収穫量の推移

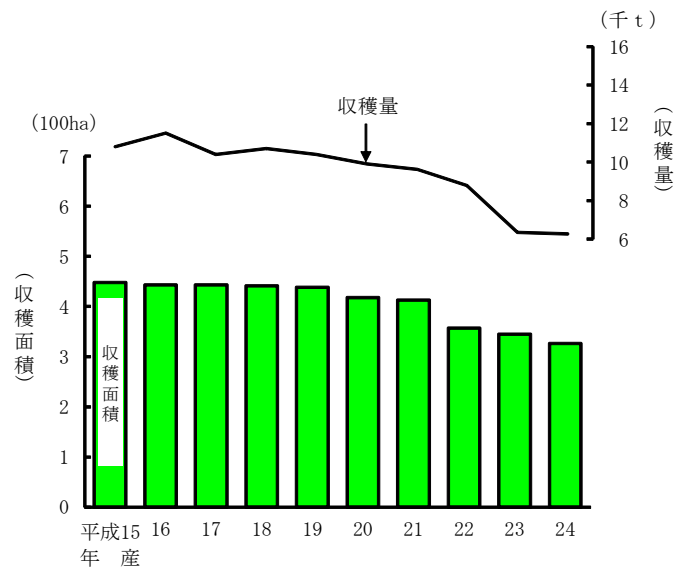


表13 平成24年産パインアップルの収穫面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（沖縄県）

品目	収穫面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				
					収面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
パインアップル	326	1,920	6,260	6,050	94	104	99	98	

## 14 キウイフルーツ

### (1) 結果樹面積

結果樹面積は2,240haで、前年産並みとなった。

### (2) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,330kgで、天候不順により着果数、果実肥大ともに抑制された前年産と比べて15%上回った。

これは、開花期の天候が平年並みで、着果数が回復したこと等による。

### (3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万9,800t、出荷量は2万5,500tで、前年産に比べてそれぞれ3,700t(14%)、3,600t(16%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、愛媛県が25%、福岡県が18%、和歌山県が12%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図26 キウイフルーツの結果樹面積及び収穫量の推移

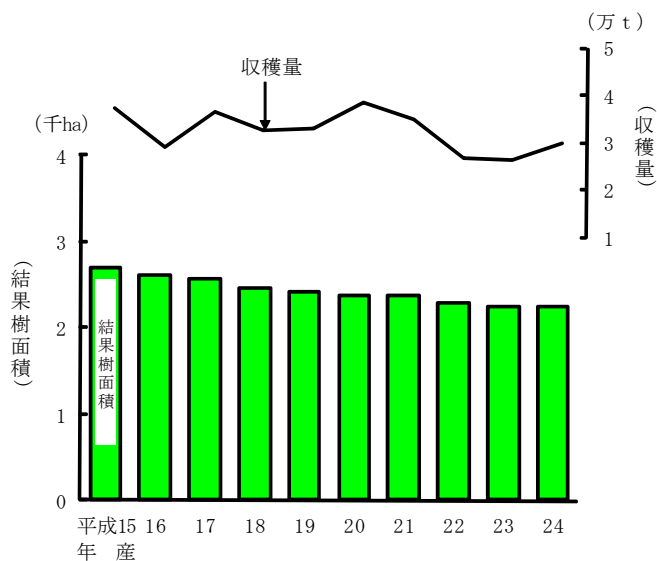


図27 平成24年産キウイフルーツの都道府県別収穫量割合

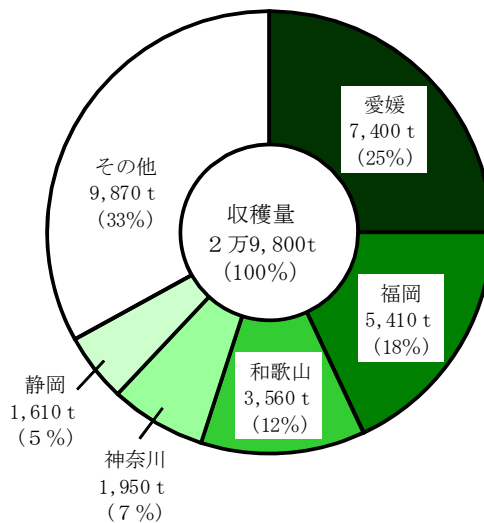


表14 平成24年産キウイフルーツの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
キウイフルーツ	2,240	1,330	29,800	25,500	100	115	114	116